

平成30年度 第1回尾張旭市社会教育委員会 会議録

- 1 開催日時
平成30年6月26日（火）
開会 午後1時30分
閉会 午後3時35分
- 2 開催場所
尾張旭市中央公民館 303会議室
- 3 出席委員
8名
- 4 欠席委員
2名（玉置基委員長、金森俊輔委員）
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
教育長 河村 晋、教育部長 萬谷久幸、生涯学習課長 坂田みどり、
生涯学習課主幹兼図書館長 加藤博英、文化スポーツ課長 西尾哲弥、
生涯学習課長補佐兼公民館係長 佐藤悦生、
生涯学習課図書館長補佐兼図書館係長 森下佳美、
文化スポーツ課長補佐兼文化振興係長 林 正信、
生涯学習課生涯学習係長 中川暢顕、文化スポーツ課体育係長 廣岡 学、
生涯学習課生涯学習係 稲垣正宏 以上11名
- 7 議題等
○委員及び事務局の紹介
○報告事項
(1) 平成29年度社会教育事業の実施結果について
(2) 平成30年度社会教育事業の実施状況及び計画について
(3) 尾張旭市生涯学習推進活動目標の実施状況について
(4) 平成29年度地域の教育力推進事業費補助金の交付実績について
○その他
(1) 施設利用料減免制度について
(2) 今後の予定について
- 8 会議の要旨

田中副委員長	副委員長の田中でございます。 本日は、玉置委員長から欠席の連絡をいただいておりますので、尾張旭市社会教育委員に関する規則 第2条第4項に基づき、副委員長が委員長の職務を代理し、会議の議長となります。 皆様、どうぞよろしくお願いいたします。
田中副委員長	ただいまの出席委員は8名です。 尾張旭市社会教育委員に関する規則 第4条にあります「委員の総数の2分の1以上」の要件を満たしておりますので、ただいまから、平成30年度第1回尾張旭市社会教育委員会を始めさせていただきます。なお、金森委員からは、欠席の連絡をいただいております。 この委員会は、会議公開制度により公開となっております。会議の傍聴とホームページ等による会議録の公開が行われますので、御承知いただきますようお願いいたします。 (副委員長あいさつ) 次に、教育長から挨拶をお願いします。
教 育 長	(教育長あいさつ)
田中副委員長	ありがとうございました。 さて、前任の姫岩委員、谷口委員、岩瀬委員の辞職に伴い、新たに3名の方が社会教育委員となられました。また、事務局にも人事異動がありましたので、議事に入ります前に、お見えの皆様全員から、簡単な自己紹介をお願いしたいと思います。 なお、紹介の際は、選出の団体名とお名前をお願いします。
各 委 員	(委員自己紹介)
事 務 局	(事務局自己紹介)
田中副委員長	ありがとうございました。 それでは、議事に入らせていただきます。 今日の委員会は、報告事項が4つと、その他の事項となっております。 まずは、次第の3、報告事項「(1) 平成29年度社会教育事業の実施結果について」事務局から説明をお願いします。
事 務 局	資料3説明 (各課の所管事務を説明後、資料を説明) (生涯学習課長→生涯学習係→公民館係→図書館長→図書館係→文化スポーツ課長→文化振興係→体育係の順に説明)

田中副委員長	ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
中山委員	生涯学習に関する事業については、他市と比較しても遜色なく実施されていると思います。しかし、市全体の社会教育や生涯学習といった観点で見ると、担当の生涯学習課や本日出席の各課の事業報告のみのものであり、全体が網羅されていないと感じます。 健康都市推進室が発行している健康マイスター手帳は、健康に関する事業が記載されたもので、その中で生涯学習に関する項目も記載されています。この手帳を見ると健康に関する事業の全体をイメージすることができます。 手帳の２４ページに生涯学習のページがあり、今年度から指定管理者が主催する事業についても記載されており、良い取組と思います。また、２６ページのシニアクラブへの参加や２９ページのボランティアサロンへの参加など、広い意味で社会教育と言える活動も含まれていると感じます。 このように、尾張旭市全体を網羅するという視点で、社会教育に関する報告がなされると良いのではないかと思います。難しい点もあるかと思いますので、意見として伝えさせていただきます。
中山委員	<中山委員提出資料 配布> ２点質問させていただきます。 １点目は、昨年度実施されたまちづくりアンケートの結果についてです。設問の「あなたは尾張旭市の歴史や文化に誇り、愛着を持っていますか」に対して、「はい」と答えた方が年々減少してきています。私自身もふるさとガイドとして、市民に誇りと愛着を持っていただきたと考えていますが、危機的な状況であると感じています。いろいろな要因があると思いますが、この傾向に歯止めをかけるためにどのような対応策をお考えなのかお聞きします。 ２点目は、同アンケートの「生涯学習情報の提供量・種類に対する現在の満足度」についてお聞きします。この結果については、第五次総合計画に記載された施策の成果指標の目標値を達成しているものの、大部分は「普通」と回答しています。 具体的には、「満足」と「どちらかといえば満足」と回答した割合は１０パーセントに届かず、反対に「不満」「どちらかといえば不満」と回答した割合は１６．３パーセントとなっており、今後

	は、不満と回答された割合をいかに減らしていくかが課題であると言えます。 また、「生涯学習フェスティバルに対する認知度」については、「行ったことがある」と回答した割合が約1割で、反対に「知っているが、行ったことはない」や「知らなかった」と回答した割合がそれぞれ46.2パーセント、34.3パーセントとなっており、またそれが微増傾向にあります。情報を発信する方法を考えたり、実施内容を考えたりしないと、フェスティバル自体が尻すぼみになってしまうのではないかと危惧しています。 これらについての対策を、どのようにお考えなのかお聞きします。
文化スポーツ課長	市の歴史や文化に誇り、愛着を持っていると答えた方が年々減少していることについては、新しい住民の方が増えていることも要因の一つではないかと考えています。 文化スポーツ課では、そのための対策として、「知っていただく」「参加していただく」という2つの視点で、様々な事業を行っています。例えば、無形民俗文化財である棒の手の市内全5流派が一同に会する場を設けて、市民の皆さんに見ていただく機会を設けることやスカイワードあさひの歴史民俗フロアでミニ企画展として実施している「尾張旭に残る古い地名」など、皆さんにお伝えする企画を実施し、同じ内容を中央公民館や市役所でも展示するなど、時期や場所を変えて少しでも多くの方に知っていただく取組を進めています。 こういった取組を進めている中で、成果が向上していない要因としては、広報の方法に課題があると考えており、市広報誌への掲載のほか、市ホームページに関連動画を掲載したり、史跡看板に二次元コードを付けたり、尾張旭まち案内で歴史に関する書籍の販売を行ったりするなどの取組も進めています。 すぐに成果が向上するものではありませんが、少しずつ取組を進めておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
若 杉 委 員	市広報誌やホームページへの掲載だけで成果が向上するものでもないと思います。私達の団体などの活動に子どもたちが参加し、それを保護者の方にも見ていただくなど、歴史や文化に関わる団体も協力して成果の向上を目指していくものと考えています。
生涯学習課長	市民の皆さんからは、教育委員会の各課が行っている事業のみならず、市の関係課が実施している事業も生涯学習として見てい

ただいているものと思います。

ただし、関係する全ての事業を、ここに出席している課のみでお答えすることも難しいことから、教育委員会が所管する事業のみを資料に掲載し、説明していることをご理解いただきたいと思います。

「生涯学習情報の提供量・種類に対する現在の満足度」については、生涯学習課が発行している生涯学習案内冊子「ハート to は〜と」や生涯学習教授リスト、公民館の掲示板を使った案内、公民館だよりへの掲載などの方法で情報を発信しております。中でも、市広報誌への掲載が、一元的に情報を発信する手段となりますが、見ていただける方も伸び悩んでいるという課題もございます。

また、ホームページに掲載しましても、個別のページにアクセスしていただかなければ、情報は伝わりません。行政のホームページは、掲載する情報量も多く、常にトップページに社会教育に関する情報を掲載し続けることもできないといった状況もございますのでご理解いただければと思います。

「生涯学習フェスティバルに対する認知度」については、市広報誌にフェスティバルに関する記事を掲載していますが、広報誌をご覧になられない方には、情報が伝わらないといった課題もございます。また、公民館の掲示板などにも情報を掲載しておりますが、皆さんがご覧になる媒体が多様化しており、伝わっていないということもあります。

現在、市では社会教育に関する団体の支援について議論を進めております。その中で、団体活動の周知を希望される団体もあり、どのようにすれば、皆さんに情報を手にとっていただけるようになるのか、また登録した情報になるべく簡単にアクセスできるようになるのかを考えていきたいと思っています。

田中副委員長

情報を伝えることは、難しいことだと思います。情報をホームページに掲載しても、若い方は仕事で忙しくアクセスする暇がない、また高齢の方はスマートフォンなどの操作に不安があることなどが考えられると思います。

また、市広報も全ての市民の方がご覧になっているもので、どのように市の事業を発信していくかを考えていくことが必要だと思います。

中山委員

今朝の中日新聞に、市のホームページにポスターからアクセス

	できる取組が掲載されていました。このように I T 技術を使った新たな仕組みも出てきております。予算の都合もあるのですが、駅にポスターを掲示するなど、多くの方に情報を届ける手段を考えていただきたいと思います。 また、市行政情報番組の「あさチャン」で生涯学習フェスティバルを宣伝していますが、全ての世帯がケーブルテレビに加入してはいません。情報を広く届けるためには、様々な手段を考えていただきたいと思います。
吉 田 委 員	資料 3 37 ページの全国大会等出場者激励費の交付は、参加者だけでなく、例えば同行する保護者の交通費なども含まれているのでしょうか。
文化スポーツ 課 長 補 佐	激励費は、大会に出場する方や同行する保護者の交通費ではなく、定額を交付するものになります。
田中副委員長	他にご意見、ご質問もないようですので、続きまして、報告事項「(2) 平成 30 年度社会教育事業の実施状況及び計画について」事務局から説明をお願いします。
事 務 局	資料 4 説明 (生涯学習係→公民館係→図書館→文化振興係→体育係の順に説明)
田中副委員長	ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
中 山 委 員	生涯学習フェスティバルについて、お尋ねします。 昨年度もこの件についてお尋ねし、市職員による実行委員会を設置しているとお聞きしました。市ホームページを調べてみますと、7 年前の事務事業評価表には、生涯学習フェスティバル実行委員会は、各種団体代表など 10 名で構成し、事務局は生涯学習課とされていました。かつては、各種団体の代表で構成されていた実行委員会が、なぜ市職員による実行委員会になったのかをお教えてください。 また、会議公開のページで、プライバシーに配慮して会議を非公開としている会議がいくつかありましたが、会議が非公開で、かつ会議録が掲載されていないのは生涯学習フェスティバル実行委員会のみとなっているのはなぜかお教えてください。市の会議公開の手續に則り、公開する必要があると思います。 現在のように、市職員によって構成された実行委員会の方が効率良く事業が進むとは思いますが、市民の意見を取り入れる場が

	あると良いと思いますので要望としてお伝えします。 私は、ふるさとガイド旭にも参加しており、ふるさとガイドは平成14年度から生涯学習フェスティバルに参加しています。昨年は、三郷公民館と平子公民館において、村絵図講座を実施し、大変盛況でした。ただし、講座を実施する段階で、公民館から住民に周知する時間が欲しいと言われました。例年10月に実行委員会を開催し、各課と調整し、準備を進めていると思いますが、時間の余裕が無い状況ですので、できればもう少し早く方針を決め、教えていただけると良いと思います。
生涯学習課長	以前は、各種団体代表による実行委員会を設置しておりましたが、行政評価の取組の中で、今後もフェスティバルを続けていくか否か、やその運営方法について検討することが指示されました。その検討の中で、フェスティバルは継続して実施することとし、まずはコンパクトに運営することを考え、市関係各課で運営できるものを中心に実施していくという方針を基にフェスティバルを開催しております。 会議録につきましては、現在、関係各課とは担当者会議という形で会議を開催しており、また、電子会議という形で開催していることから、他の会議と同じ形式の会議録とはなっており、公開もしておりません。ただし、関係者が集まる会議も開催しておりますので、ご指摘のとおり公開してまいりたいと思います。 スケジュールについては、担当する生涯学習係が所管する「新成人の集い」と近い時期の開催であり、準備の人員も限られていることから、現在のスケジュールになっているのが現状です。今年度は、関係する団体の皆様のことを考えて、なるべく早く事務を進めるようにしてまいりたいと思います。
中山委員	図書館の図書についてお尋ねします。 この間まで開架書庫にあった資料が、閉架書庫に移されていきました。私は、ふるさとガイドの活動を行うに当たり、地域史に関する本を借りますが、ほとんど閉架書庫に移っており、毎回受付で話をし、出してもらっています。借りられる方が少ないため仕方がないと思いますが、開架書庫にあれば、このような地域に関する資料が図書館にあるということを市民が知る良い機会になるとと思いますので、図書館の考えをお聞きしたいと思います。 また、一部の資料は、昨年まで開架書庫に置かれていたのに、現在は閉架書庫でもなく、図書の目録から削除されてしまってい

	ます。理由をお聞きしたところ、記載されている内容が個人のプライバシーに関わるものであるため、閲覧しないこととなったとの答えでした。もちろんプライバシーには配慮が必要ですが、地域の歴史に関する資料を簡単に削除してしまってよいのか、図書館の考えをお聞きしたいと思います。
図書館長補佐	一部の図書につきましては、寄贈を受けた後、一時期開架書庫に設置しておりましたが、内容を精査したところ個人のプライバシーに関する記述があり、開架書庫に設置していくことはふさわしくないとの意見もいただいたため、現在は、別に保管しております。ただし、資料の歴史的価値が高いことも併せて承知しておりますので、個別にご相談いただきたいと思います。
中山委員	昭和20年代以前のこの地の暮らしぶりが分かる貴重な資料ですので、公開できる部分だけ抜粋して公開することはできないのでしょうか。
図書館長補佐	個人のセンシティブな情報が含まれておりますし、資料の正確性の点からも、資料の一部を公開することは考えておりませんので、ご理解いただきたいと思います。
中山委員	図書館の考えは理解しましたが、この資料にしか記載のない事柄もありますので、ふるさとガイドでは、行政が貴重な資料を持っていることは伝えていきたいと考えています。 資料を開架書庫に移した件については、いかがでしょうか。
図書館長	歴史に関する資料は、貴重な資料ですので、いたずら防止という点からも閉架書庫に移した経緯があります。閉架書庫には移しましたが、お申し出いただければすぐにお渡ししますのでご理解いただければと思います。
生涯学習課長	過去には、図書館資料にいたずらされたことが問題になった時期もあります。また、1、2冊しか存在しない資料を適切に保管するという点からも、ご理解いただければと思います。
中山委員	瀬戸市立図書館は、郷土資料室を設置し、歴史に関する資料を市民が見られるようになっていきます。図書館によって考え方の違いはあるのですが、尾張旭市でも資料を見られるようになると良いと思います。他の本と比べてもマイナーな資料ですので、閉架書庫に移されることを理解できなくはないですが、少しでも検討していただきたいと思います。
田中副委員長	他にご意見、ご質問もないようですので、続きまして、報告事項「(3) 尾張旭市生涯学習推進活動目標の実施状況について」事

	務局から説明をお願いします。
事 務 局	資料5説明 (生涯学習係→公民館係→図書館→文化振興係→体育係の順に説明)
田中副委員長	ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
田中副委員長	特にご意見、ご質問もないようですので、続きまして、報告事項「(4) 平成29年度地域の教育力推進事業費補助金の交付実績について」事務局から説明をお願いします。
生涯学習係長	資料6説明
田中副委員長	ただいまの報告について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
田中副委員長	特にご意見、ご質問もないようですので、続きまして、次第の4「その他」に移らせていただきます。 「(1) 施設利用料減免制度について」事務局から説明をお願いします。
生涯学習係長	資料7説明
田中副委員長	事務局から説明のありました「今後の進め方」に基づいて、今後、検討を進めていくとのことですが、ただいまの説明について、ご意見、ご質問等がありましたら、お願いいたします。
山 本 委 員	文化協会としては、減免制度を継続していただきたいという立場です。趣味・教養活動については減免しないことが望ましいとされていますが、生涯学習は趣味・教養活動の延長線上にあるものと思います。また、一概にこれは趣味の活動だと区別することも難しいと思います。高齢社会の進展を受け、趣味の活動を通じて健康を維持できれば、市としても有効な策だと思います。減免によって減収になる額が市の財政を圧迫するほどのものではないとも思います。 文化協会の団体を増やしていくため、加入促進を行っています。年間6,000円の年会費を払うことや協会の役員を引き受けることが負担であるとの理由から敬遠されているといった状況もあります。仮に減免を廃止されることにより、活動を収縮させてしまうことも考えられます。 また、公民館まつりでがんばっているのは、減免を受けている

	団体だとも思っていますので、資料に記載されているとおり、半額減免廃止による影響については、十分に検討していただきたいと思います。
田中副委員長	今後、市で検討を進めていただきたいと思います、今出された意見も踏まえて、お願いしたいと思います。
田中副委員長	他にご意見、ご質問もないようですので、続きまして、「(2) 今後の予定について」事務局から説明をお願いします。
生涯学習係長	(今後の予定を説明)
田中副委員長	全体を通して、何かご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。
田中副委員長	特にご意見、ご質問もないようですので、他に、事務局から何かありますか。
事務局	事務局からは、特にございせん。
田中副委員長	それでは、以上をもちまして、本日の尾張旭市社会教育委員会を閉会したいと思います。 長時間にわたり、ありがとうございました。